

事業所職員における自己評価結果(公表)

事業所名 児童発達支援事業所ながかみ

公表:令和 4 年 2 月 28 日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点等
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	0	
	2 職員の配置数は適切である	4	0	常に管理者、児童発達支援管理者、保育士2名の配置基準以上になるよう職員の配置をしている。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリーである	4	0	毎日の生活の中で、コーナーごとに区切るなど、落ち着いて遊べる環境をこころがけている。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4	0	部屋のスペースを区切り落ち着くことのできる場所の確保や部屋に作られた小上がりなどを使用し、体を動かす活動に合わせて使用できるようになっている。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	0	保育園のスタッフも交えながら10分間ミーティング会議等を通して毎日スタッフ間で行っている。今までの業務についても見直しや効率よく行えるようにスタッフ間で意見を出し合っているが、その後の振り返りの時間が少なく、今後定期的に確実に時間をとって振り返りを行っていきたい。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	0	保護者向け評価表につきましては、R5年1月に配布し、いただいた評価・ご意見をまとめ、意見に対して対応策を話し合いました。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	0	事業者向け自己評価表につきましては、R4・1月に配布し、評価をまとめました。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	4	第三者による外部評価は法人の評価委員で行っている。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	0	併設保育園のスタッフと一緒に、定期的に研修に参加している。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4	0	利用開始時、半年に一回の個別面談時にアセスメントシート・支援の意向の希望に記入していただき、そのシートと日々のあらわれから支援計画を作成している。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	0	使用している。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4	0	毎月、定期的に目標設定、反省、振り返りを行っている。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4	0	支援計画に基づき、2か月ごとに具体的な目標を振り返りを行っている。支援計画は常に確認できるようにしている。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	4	0	保育園の年間行事計画にそって準備している。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	0	毎日ほう運動、散歩を取り入れているので、固定化に近いが遊びは自由に遊べている。日々のルーティンを大切にしながら季節が感じることが出来る遊びや1人1人に合わせた遊びを行っている。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成している	4	0	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	1	朝ノート等を活用しながら毎日確認をしている。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	0	食事量、出来るようになったこと、気になる言動等、スタッフ間で共有し、保護者から質問されても誰もが答えられる環境を整えている。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	0	毎日個人の成長や気になるところを保育園を含めたスタッフ間で共有、話し合いをし改善に努めている。
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4	0	全員と年2回以上モニタリングを行い、支援計画の見直しをし、保護者との連携を常に密にしている。

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	0	コロナ禍で、会議自体の開催が減少しました。そのため、書面にてこちらでの様子を3ヶ月ごとに郵送するように準備しております。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4	0	書面にてこちらでの様子を3ヶ月ごとに郵送するように準備しております。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0	0	現在医療的ケアの必要なお子さんはいません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0	0	現在医療的ケアの必要なお子さんはいません。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	0	園に電話、または訪問させていただき、引継ぎ等を行っている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	0	サポートかけはしシートの作成をし、就学先からの訪問時の際、情報提供をしている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	0	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4	0	併設の保育園の保護者会も含め、一緒に活動を行っている。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		0	今年度、参加できていません。今後情報を得て、積極的に参加していきたい。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	0	送迎時、日頃の様子を確認と、帰りの際には、活動の様子を直接保護者の方に伝えている。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	0	4	定期的に外部の講師を招いて子育て支援の講習会を開き、困っていること、対応策、事例検討などの書籍も紹介している。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	0	必ず、契約時にご説明をしている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4	0	ガイドラインに基づいて保護者の方と話し合いを持ちながら計画を立て、同意を得ています。からも同意を得ている。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	0	モニタリング時、送迎時にその都度行っています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	0	今年度は、保育園の0歳～1歳児のクラスと一緒に保護者会を開催した。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4	0	速やかに、面談等対応している。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	0	毎週、保育園と一緒に活動しているお便りを発行し掲示もしている。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	4	0	日頃から配慮している。個人情報の書かれているファイル等につきましては、鍵付きのロッカーで保管している。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	0	子どもに状態に応じて対応している。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	2	併設の保育園に準じている。子育て広場を通していつでも園庭を開放している。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4	0	保育園と一緒に避難訓練を定期的に行い、時には保護者にも参加していただき常に非常事態を想定した動きが出来ていることを伝えている。緊急連絡網にて連絡先の資料と、一斉メールが出来るように体制を整えている。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	0	毎月、保育園と一緒に様々な想定をした訓練を行っている。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4	0	見学体験時、また契約時に必ず確認している。服薬の有無も確認している。変更時は薬手帳のコピーを保管している。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	0	医師の指示書の提出をお願いしている。解除の時も医師の解除証明書を出してもらっている。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	0	ヒヤリハットの事例があった場合は、書面に記載し必ず報告し、情報の共有を行っている。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	0	今後、研修の実施を計画中。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	0	4	身体拘束はおこなっていない。おこなわない。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。